

東京弁護士会 子どもたちと弁護士がつくるお芝居
もがれた翼
×
アドボケイト

シンポジウム

子どもの声を聴く

～家庭で、学校で、
社会的養護の現場で～



2023年1月28日(土)

13:30～17:00

弁護士会館クレオ

主催 東京弁護士会 協力 社会福祉法人カリヨン子どもセンター

第1部 「もがれた翼」 上映会

パート22「家族のカタチ」 パート25「パッチワーク」 パート26「素数とくるみ」
(ダイジェスト版)

第2部 パネルディスカッション

パネリスト

大久保真紀

(朝日新聞編集委員)

川瀬信一

((一社)子どもの声から
はじめよう代表理事)

池田清貴

(元厚生労働省子どもの権利擁護に関する
ワーキンググループ構成員、弁護士)

坪井節子

((社福)カリヨン子ども
センター理事、弁護士)

コーディネーター

佐藤 香代

(弁護士)

(敬称略)

「もがれた翼」は、子どもを取り巻く現実、困難を広く市民の皆様知ってもらうため、1994年の子どもの権利条約の批准を機に子どもたちと弁護士でつくってきたお芝居です。

毎年、少年事件、いじめ、虐待などさまざまな問題を取り上げ、上演しておりますが、その中で一貫して「子どもの声を聴く」こと、そしてその「声」を道しるべとした権利擁護活動の重要性を訴えてきました。

昨今、日本では、子どもの手続代理人、意見表明支援員が法律で規定されるなど、子どもアドボケイトの大切さが意識されるようになってきています。しかし、家庭・学校・社会的擁護の現場で、私たちは十分に子どもの声を聴くことができているのでしょうか。

そこで、本シンポジウムでは、もがれた翼の過去作品(ダイジェスト版)を振り返りながら、今までの実践、そして、今、日本で議論されている子どもアドボケイト制度を紹介しつつ、一緒に考えてみたいと思います。

2023年秋には、改めて「子どもの声を聴く」ことをテーマとしたもがれた翼の新作を上演する予定です。どうぞご期待ください。

20230128

日時 2023年1月28日(土)

午後1時30分から午後5時まで
(午後1時開場)

場所 弁護士会館2階クレオ

(東京都千代田区霞が関1丁目1番3号
東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線
「霞ヶ関駅」B1-b出口より直通)

定員 150名(予約不要・先着順)

MOGATSUBA

お問合せ先
東京弁護士会人権課
(03-3581-2205)



詳しくはこちら